



緑茶には香りの成分のほかにも、多くの有効成分が含まれています。中でも最近話題を集めているのは、抗酸化作用のあるカテキン類、肥満予防のサポニン、消臭効果のあるフラボノイド、リラクゼクス効果が期待できるテアニンなど、数え上げたらきりがありません。長寿世界一の日本ですが、毎日飲み続けている緑茶が大きな力を発揮しているのではないのでしょうか。

全く違ったものになります。紅茶は完全発酵茶、ウーロン茶は半発酵茶と呼ばれるのに対し日本の緑茶は茶葉の収穫後、新鮮な状態で蒸し、酵素の働きを停止させ保存を可能にした、不発酵茶と呼ばれています。緑茶の香り成分は次々と見い出され、今や六百種類以上の香りの化合物が認められています。それらの香り成分が微妙なバランスを保ちながら、緑茶独特の香りを醸し出しているのです。

梅栄堂 香りの文献

日本人の暮らしに 欠かせない

緑茶

数々の有効成分が 話題を呼んでいます。



茶の木は、元来国内に自生していたという説と中国から渡来したという説がありますが、現在は渡来説のほうが有力視されています。

古くは『日本後記』において、はじめて登場する茶ですが、時代を経て鎌倉時代、臨済宗開祖の栄西が宋の国から持ち帰り育て、また『喫茶養生記』を著し、お茶の普及に努めました。その後お茶は禅宗との結びつきから、茶道という日本独自の文化を誕生させることになりました。

一方、現在我々が一般的に飲んでいる煎茶は江戸時代に定着したものです。日本茶は緑茶ですが、紅茶もウーロン茶も茶に変わりなく植物学的には同一種。それぞれ産地によって多少の違いはありますが、その製法によって味も香りも

●商品紹介

沈香を基調にした超高級品シリーズ、 装いも新たに登場。

明暦三年（一六五七年）沈香屋作兵衛の名で創業いたしました。以来の伝統と技を生かし、丹念に作り上げた超高級お線香シリーズ。従来どおりの各種本格桐箱詰めはそのままだに、より上品で格調高い外箱をご用意いたしました。二種詰め、三種詰めも取り揃えております。どちら様にも自信をもってお勧めできるお品でございます。ぜひ、お届けものとさせていただきます。



- 特撰孔子木 15,750円
- 特撰薫昇 3,150円
- 特撰九重 1,890円
- 特撰香苑 5,250円
- 特撰鳳龍 2,100円

●話題

「中小企業懸賞論文」で受賞

第十九回を迎えた財団法人商

部門で準賞を受賞いたしました。内容は老舗企業の弊社が過去の伝統に縛られず、若くして事業を引き継いだ中田信浩社長主導で、斬新なヒット商品「残香飛」などを開発したという事例を、マーケティングの観点から分析し、老舗企業の経営革新について考察した論文です。

堺市が政令指定都市に

二〇〇六年四月、堺市が政令指定都市に指定されるのを前にして、テレビ大阪（十一月三日）では、『寛平、靖の自転車キヤラバンIN堺』と題し、『堺の観光マップ』作りに参加しながら、堺市の魅力をアピールする番組を企画。関西お笑い界の人気者、間寛平が隊長となって総勢五人のキヤラ

工総合研究所（商工中金）主催の「中小企業懸賞論文」で、弊社営業部長の中田信也が産業

バン隊を結成し、堺市の主な観光スポットを自転車で訪問しました。まず「自転車博物館」で堺の工業製品である自転車を調達し、「子利休の誕生の地」や、子供達の夢の空間「ビッグバン」をはじめ、地場産業であるお線香の老舗としての「梅栄堂」や、新鮮な魚介類で活気が溢れる「とれとれ市」などを次々に巡り、堺の魅力を強くアピールしました。

ABCラジオ

『全力投球！妹尾和夫です。』同番組は、スタジオとのリリース放送。中田社長とレポーターとの間では、三百五十年引き継がれてきた伝統のお線香と、時代時代に必要とされるお線香について、「香りの談義」に花が咲きました。